



発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会

宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋4262 TEL 0983・23・0005 FAX 0983・23・5096 URL http://www.narumigaoka.jp/

# 同窓生の皆様へ

高鍋高等学校同窓会「鳴海ヶ丘会」会長 増田 秀文



鳴海ヶ丘会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝でございまして、お喜び申し上げます。また平日頃より、同窓会活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成27年、恒例のOB祭は「道標・一歩一歩踏みしめて」のテーマに中村昭人実行委員長のもと、平成4年卒業の皆様が担当をされました。8月14日に宮崎座論梅GCにてOB祭ゴルフコンペ、8月15日には「鳴海ヶ丘会」総会に引き続きOB祭が開催されました。本校出身のジャズシンガー黒木美紀さんのジャズライブの後、戦場カメラマンの渡部陽一氏の「身近にある大切なもの」というテーマにて記念講演が行なわれ、独特のパフォーマンスでの語りの中に、世界各地で起きている紛争の現実を通して、命、人間愛について考えさせられました。その後の懇親会にも多くの同窓生に参加を頂き、旧交あたたまる楽しい会となりました。実行委員の皆様方の母校への熱い思いに改めて感謝する次第です。

「明倫奨学生」も今年度4人目が誕生をいたしました。この春には初めての大学卒業生を送り出すことができそうです。彼には、これから高鍋高校卒業生という誇りをもって大きく羽ばたいて欲しいと願っています。

## 平成28年度OB祭について

事務局長 平木 将司

平成28年度OB祭を担当します平成5年卒業生を代表し一言ご挨拶申し上げます。私達は、昨年7月に準備委員会を発足し、組織体制等について協議を重ね、昨年9月に実行委員会を正式に設立いたしました。その後、名古屋、福岡・宮崎各支部における総会等に出席し、高鍋高校の歴史や先輩方の絆の深さに感銘を受けたところであります。

また、私たちの活動として、一月に同窓会を開催しました。当時の先生方や同窓生と楽しいひとときを過ごし、同窓生の温かさを感じるとともに、同じ時間を共に過ごした仲間と集まることで、OB祭という目標について語り合うことができ、意思の疎通を図ることが出来ました。

平成28年度OB祭のテーマは「歩く自分らしく」です。伝統ある高鍋高校OB祭は、私達が担当することになるまで脈々と受け継がれてきました。受け継がれていくことが、高鍋高校OB祭の歩みそのものです。先輩方がそうであるように、私たちもOB祭を実現させるため熱い思いと、より良くしていくために同級生との連携が何よりも重要であり、共に歩を進めることが何より大事だと思っております。

共に自分らしく歩んでいこうと思っております。私たち同窓生一同は、伝統のOB祭成功に向け、一丸となって、精一杯取り組んでまいります。

今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

平成28年度高鍋高校OB祭実行委員会役員名簿

番号	役職	氏名
1	実行委員長	脇本 隆一
2	副実行委員長	松尾 昌子
3	事務局長	平木 将司
4	事業推進局長	前田 智宏
5	事業運営局長	前田 慎介
6	会計部会長	沼口 昭仁
7	総務部会長	橋本 敏博
8	クラス役員部会長	筒井 正志
9	販売部会長	小森 基希
10	広報部会長	久家 三佳
11	企画運営部会長	河野 哲也
12	ゴルフ部会長	仲武 芳彦
13	懇親部会長	阿部 泰士

## 探究科学コース 課題研究発表会

探究科学コース主任 三浦 章子

平成27年度第2回探究科学コース2年生課題研究発表会が12月19日土曜日に本校体育館において行われた。

探究1期生による発表会から1年経過し、先輩達の研究成果に引けをとらないよう、2期生も奮闘した1年間であった。

今年度も文理様々なテーマを設定し、多角的な視点から調査・研究を重ねた結果をポスターセッションの形式で発表した。「食品添加物は本当に危険なのか？」といった身近な疑問からスタートした研究や、「校内感染症について」といった、高鍋高校内における感染症の特徴や宮崎の気候風土を調査研究したもの、「モチベーションのあげ方」「アクティブラーニング」など学習効果に関する教育的なテーマなど多岐にわたった。

今年度の特徴の一つは、理科系の研究が共同研究で行われたことである。リゾチームの研究をした佐藤・松井班は「涙で菌を殺せるか」という素朴な視点から、クラスメイト全員を被験者として地道な研究を行った。「思うような結果が出なかったし、時間の使い方も良くなかったが、こうした経験は大学進学後に必ず役に立つと思う。また共同研究なのでコミュニケーション能力を身につける絶好の機会だった。」と感想を述べている。また他の生徒も「研究というものの大変さが身にしみえた。先人の科学者たちを尊敬する。」とも述べている。彼らにとって研究結果だけでなく貴重なものが得られたに違いない。

参加者は100名を超え、近隣の中学生や地域の方々に見ていただき、さらに研究の過程では高鍋町役場や関係各所、民間施設の方々にも御協力いただいたことをここで感謝申し上げます。



## 全国選抜ボート大会九州予選に出場して

ボート部監督 柴田 友輔

今回で4度目のチャレンジだった。同好会の年も加えて4年目にして九州大会優勝を果たせた事は、これまでの努力が無駄では無かったと確信させてくれる出来事だった。大分県より移り5年目。同好会を設立して頂きその後の苦労等を思い返す事があるが、ここまでの道は学校の理解と保護者・部員の競技に対する気持ちがあつての事だと実感している。ボート競技は水辺がなければ出来ない。高鍋高校の隣には小丸川が流れているが、護岸の整備がなされておらず競技を実施する事が現状では難しく、今後の整備が望まれる。現在ボート部は学校終了後、富田浜漕艇場まで自転車毎日8キロの移動を続けている。他の部活より40分ほど練習時間が削られ、さらに使用しているボートは宮崎総体の時の古い型のボートが殆ど。これらのハンディを乗り越えて九州大会で優勝を果たしたくれた部員には感謝する。しかしボート競技は男女6人乗り、今回は女子のダブルスカル(2人乗り)での優勝である。残りの5種目の九州優勝へさらに意識を高めていきたい。



## ラグビー全国大会に出場して

ラグビー部監督 檜室 秀幸

第95回全国高校ラグビー大会に出場した際にはたくさんのご支援・ご援助を頂いたことを深く感謝いたします。

今年度は全ての県大会決勝戦で日向高校と対戦した。1勝1敗1引き分けで迎えた全国大会予選では最後まで集中し、自分たちの力を出し切り5年連続で全国大会への切符を手に入れました。初戦は開会式直後の第1試合。相手は青森県代表の青森北高校。ゲーム前にベンチから見えたのは、スタンドを埋め尽くす大応援隊。選手もスタッフも気持ちが高ぶりました。前半は相手のパワープレーに押され気味でしたが終了間際に逆転してハーフタイムを迎えました。後半もしっかりとしたディフェンスで戦っていたのですが、終盤に点差を詰められ、ノーサイドまで残り数分の場面でも相手ディフェンスのプレッシャーに合い、ゲームを上手く作れずに逆転負けを喫してしまいました。全国大会で勝ち上がることの難しさを痛感させられました。応援して下さいました。支部同窓会、ならびに県人会、学校関係者、

地域の方々そして保護者の皆様ありがとうございました。野球部の諸君、今年も盛り上げてくれて本当に感謝しています。高校でのラグビー人生はこれで終わりですが、真価が問われるのはこれからだと思います。今までお世話になったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、これからの人生において活躍することを目指して頑張ります。今以上に謙虚さと感謝の気持ちを胸に、ひたむきに頑張りますので変わらぬご支援を宜しくお願いいたします。ありがとうございます。





# 支部総会報告

## 福岡支部総会報告

福岡支部事務局長 原 誠子

福岡支部総会は昨年の11月28日(土)にIPホテルFUKUOKAにて開催しました。

総会の冒頭に増田会長、早日渡校長から鳴海ヶ丘会や母校の現状についてお話があり、その後名古屋支部の福本事務局長や小澤町長からも来賓のご挨拶をいただきました。

総会では支部活動報告・会計報告・監査報告等行い満場一致で承認を得ました。総会終了後は懇親会へと移りまして、皆で近況を語り合い、和やかな時間を過ごす事が出来ました。途中、猪股事務局長が準備してくださった高校を紹介するDVDを鑑賞し、母校の今に懐かしさを感じました。今回の総会は、久しぶりに出席してくださった方々や、初めて出席された方などで68名もの稀にみる出席数でした。テールのあちらこちらで、話に花が咲き皆様の笑顔を見て高鍋高校のOBで本当に良かったなと思えた瞬間でした。後半はパソコンゲームを楽しみながら、参加して下さった方々に賞品をお配りしました。笑い声が続きながら時間を惜しみつつ、最後には全員で校歌および応援歌を力強く歌いながら閉会しました。

お忙しいなか御出席頂きました。ご来賓の方々や支部会員の皆様、新旧OB祭実行員の皆様にもこの場を借りてお礼申し上げます。次回の総会も役員一同、創意工夫をして皆様に楽しんで出席いただけるよう努力したいと考えております。



野球部OB 右より原田浩様・池田親興様・小澤町長様



井本支部長

## 名古屋支部総会報告

名古屋支部支部長 金丸 節夫

高鍋高校同窓会名古屋支部総会は11月14日(土)アパホテル名古屋錦にて開催いたしました。

総会には高鍋鳴海ヶ丘本部から増田秀文同窓会会長、早日渡志郎高鍋高校校長、猪股司事務局長のご出席に加え前年度及び今年度OB祭実行委員会の方の参加もありました。東京・大阪・福岡支部の代表者にも遠方より出席して頂きました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

出席者総数は32名となり、ごちんまりとした家族的雰囲気の中で開催されました。総会では(1)来賓及び支部長挨拶(2)平成27年度活動報告(3)平成26年度会計及び監査報告(4)懇親会(5)2次会懇親会の構成で実施されました。活動及び会計報告は承認頂きました。

総会の来賓挨拶では増田会長、早日渡校長、猪股事務局長から鳴海ヶ丘同窓会及び高鍋高校の現状を拝聴いたしました。うれしいニュースですが、高鍋高校ラグビー部の5年連続花園出場の報告もありまして、今年も名古屋支部としての花園応援並びに協力を誓いました。

懇親会の中で前年度及び今年度OB祭実行委員会の挨拶の中での新発見もありました。実行委員会メンバーの年齢が40歳・42歳で、父親・母親が高鍋高校OBとの話が、今後のOB祭実行委員会の挨拶ですが、メンバーの父親・母親が高鍋高校OBであるとか、出身地等発表していただければ総会も盛り上がるのではないかと思います。また高鍋からのおみやげ(OB祭実行委員の取れ立て野菜含む)も多数頂き、霧島酒造様の賞品提供など多数のご協力に対してもお礼申し上げます。

盛り上がった懇親会の引き続き2次会懇親会をスナック「ひろみ」で開催されました。例年であれば名古屋支部 井下副会長が経営されている「しおまめ」で開催していましたが、井下さんが引退されましたので、別場所で開催いたしました。内容はOB祭実行委員会がパーティーンダーになって、お酒を振る舞い、得意なカラオケを披露する事は例年と変わらず実行できました。ご協力有難うございました。

参加者は他支部と比較すれば少人数の出席者ですが、少人数である

メリットもあり、大変盛り上がりまして、更に懇親を深める事ができました。開催責任者としては大変満足しております。

来年度は春のレクレーションで「花見」で楽しむか計画しております。名古屋支部での参加者を多くする事を目標として、幹部一同努力して参ります。

出席者の皆さん全員に感謝申し上げます。また来年お会いいたしましょう!!

以上



## 宮崎地区支部合同同窓会報告

宮崎地区支部長 緒方 克則

宮崎地区は、宮崎地区支部(緒方克則支部長)、宮崎県庁支部(久保田和弘支部長)、宮崎市役所支部(倉永康史支部長)が合同で母校の支援と卒業生相互の世代を超えた交流情報交換等を目的に、平成19年から宮崎地区支部合同同窓会を開催しています。また、寄付金募集など母校の支援事業に取り組み、実績を上げてきました。

宮崎地区同窓会は、平成27年11月6日(金)ニューエルシティ宮崎で合計100名が参加して開催しました。来賓として増田同窓会長、早日渡校長、猪股同窓会事務局長、津江同窓会事務局長にご出席をいただき、挨拶や学校紹介DVDで母校の現状や課題等詳しくご説明いただき、出席者は、母校の取り組みや生徒達の躍動する姿を見ながら在りし日の自分にかえり思い出話に花を咲かせる楽しいひと時を過ごしていました。また、例年どおりOB祭実行委

## 川南支部総会報告

川南支部支部長 宮崎 吉敏

平成27年12月17日、各学年幹事の皆様に、出席して頂き、事業報告並びに収支報告、支部交流会の開催の承認を頂きました。又、剰余金の5万円を寄付させて頂くことを満場一致で承認して頂きました。

平成28年1月23日、プライダルホール竹乃屋に於いて川南支部交流会を開催致しました。御来賓に川南町町長日高昭彦氏、会長増田秀文氏、校長早日渡志郎氏、事務局長猪股司氏のご出席を賜り、総勢72名の参加者で盛大に開催致しました。

今回はいままでの他の地区の総会と重なり、出席が叶わなかった増田会長に、ご参加を頂き支支を代表して感謝を申し上げます。また母校の取り巻く環境は大変厳しく、地域で高鍋高校を支援していく体制を強化していきたいと、皆様の更なるご支援ご協力をお願い致しました。

日高町長、増田会長、早日渡校長より御挨拶を、猪股事務局長より高鍋高校の近況を報告して頂きました。また支部長より、同窓会育英会奨学金へ寄付金を贈呈致しました。本年度OB祭実行委員長中村氏、次年度実行委員長脇本氏の挨拶を頂き、飛高先輩の乾杯の御発声で、楽しい交流会を開催いたしました。川野みなみさん(徳間ジャパン34年卒)に歌って頂き、年代を超え、学生時代の事、母校高鍋高校への熱い思いを、酒を酌み交わし語り合いました。

## 部活動実績

競技・部名	競技種目	成績
陸上部	新人戦 男子4×100mリレー	6位
バレーボール部	1年生大会 男子	3位
ラグビー部	全国大会	1回戦
	新人戦	優勝 (九州大会出場)
剣道部	選抜大会 女子	2位 (九州大会出場)
ボート部	九州大会 女子ダブルスカル	優勝 (全国選抜大会出場)
放送部	九州高校放送コンテスト 長崎大会 テレビ番組部門	優良賞

## 事務局からの連絡

**同窓会育英会会長賞表彰者**  
普通科 黒木 陽介(301)  
銅倉 祐太(302)  
生活情報科 平山 莉果(305)  
生島 絵美子(307)  
おめでとございます。これからもますます頑張ってください。

## 明倫奨学金報告とお礼について

同窓会事務局長 猪股 司  
明倫奨学金に多くの有志の方々より寄付を賜り、誠にありがとうございます。この奨学金制度は皆様の寄付金によって賄われております。どうか今後とも変わらぬ御支援のほどお願い申し上げます。



平成年度明倫奨学金寄付者 (平成27年10月以降)

昭和39年卒業生一同 川南支部同窓会 敬称略

※寄付者の公表は、同窓会支部、OB祭実行委員会、卒業生一同様に限らせて頂いております。企業及び個人の寄付者の公表は行っておりません。

## なんきんはぜ

「よだき」という宮崎弁があります。私の「よだき」こと「座ること」です。「人の好みはさまざまである」と言いますが、人の苦手なものもさまざまで、「どうしてそこまで苦手なのか」と訊かれてもちよつと説明がつかません。「ヒュー」と思わず声が出そうになる冷たさ以上の精神的ダメージがなぜか私にはありまして、休憩時間まで待つてわざわざ近くのコンビニエンスストアまで行く始末です。しかしこの冬、私はこの苦手を克服しました。

突発的な事も重なってもの凄く忙しい事態に陥り、コンビニに行くことさえできなくなり、やむなく「電気イス座り」を余儀なくされたのです。そういう時に限って頻度は増えるもので何回も座りました。すると啓示は突然降りてきました。「あれっ?いつの間にか座ってる。そうか、現実よりもイメージが何倍も大きくてそれに呑まれてた!よだきイメージが自分の中から出た上が前にサツサと着すすばいんだ!!」

それから面白いことが起こりました。「学校の冬の洋式トイレに座れるようになったから○○にも抵抗がなくなつた」と思えるようなことが他にいくつか出てきたのです。○○にはトイレと同レベルのことだけでなく、仕事など自分にとってメインの事柄に関するものも含まれます。「飛躍して拡大感染」するのです。

最近新聞で「目は臆病 手は鬼」という三陸地方に伝わることばを言葉を目にしました。震災ボランティアに携わられた方々の行動心を表すのに引用されて「途方もない量の片付け仕事を前に怖じかかれば存外すんなり事はなるとありました。『よだき』と思つてもとにかく動いてみる」という目の前の小さな突破が思わぬ成果を生むかもしれませぬ。(津江 政彦)

